VASDAQ.TV 共通仕様定義書

第1.0版

2010年3月8日

VASDAQ JAPAN

承認	作成

プレーヤー

テーブル情報

論理テーブル名	プレーヤーテーブル	物理テーブル名	players
備考			•

カラム情報

論理名	物理名	型	主キー	NotNull	デフォルト
ID	id	INT	0		AutoIncrement
プレーヤーNo	player_no	VARCHAR(255)			
名前	name	VARCHAR(255)			
ガイド	guide_text	VARCHAR(255)			
プレーヤーモジュールクラ	playerclass	VARCHAR(255)			
プレーヤー表示クラス	playerview	VARCHAR(255)			
ランタイム(データ取得)	runtime_get_type	VARCHAR(255)			
ランタイム(データ作成)	runtime_create_type	VARCHAR(255)			
作成日時	created_at	DATETIME			
更新日時	updated_at	DATETIME			

備考

11.13	
player_no	こちらで採番します。
name	画面に表示する、プレーヤーの名前を定義します。
guide_text	画面に表示する、プレーヤーの説明文を定義します。
playerclass	「/lib/players」で定義したプレーヤーモジュールを定義します。モジュールのクラス名になりま
playerview	「app/views/player」で定義したプレーヤーの表示ERBを定義します。「_」を抜いた名前になり
runtime_get_type	取得系のランタイムを使用する場合、ランタイム名を定義します。
runtime_create_type	作成系のランタイムを使用する場合、ランタイム名を定義します。

プレーヤーモジュールクラス

```
サンプルソース(ファイル名: P1.rb)
module Players
 class P1
  def initialize(current_user,content)
   @current user = current user
   @content = content
  end
  #前処理を行う場合
  def kick
   @content
  end
  #コンフィグデータが必要な場合
  def config_create
  #出力用HTML
  def get html
   head = ""
   head << "<?xml version='1.0'> \n"
   head << "<html xmlns='http://www.w3.org/1999/xhtml' xml:lang='ja' lang='ja'> \n"
   head << "<head> \n"
   head << "<meta http-equiv='Content-type' content='text/html; charset=utf-8' /> \n"
   head << "google.load('feeds', '1'); \n"
   head << "</script> \n'
   head << "</head> \n"
   head << "<body style:
   return head
  end
 end
end
```

- ・名前空間はかならず「Players」にしてください。
- ・プレーヤーテーブルにおいて「playerclass」に登録した値をクラス名にしてください。
- ・もし、プレーヤーの生成画面前に処理を行いたい場合に、処理を追加します。
- ・ランタイムへの設定を渡したい場合に、処理を追加します。
- ・プレーヤーの画面を生成します。対応するHTMLの処理を返します。

※必ず、すべてのメソッドを定義してください。

プレーヤー仕様(View)

プレーヤー表示クラス

サンプルソース(ファイル名: _p1.html.erb) 保存先(/app/views/contents/player)

Idとname属性は「contents_setting」の配列にしてください。 また、属性値は「settings」の配列から取得してください。